

## 在校生送辞

自転車で駆ける時の凍ったような寒さも和らぎ、温かな心地よい風が感じられる季節となりました。今日この良き日に、思い出の学び舎を巣立っていかれる184名の先輩方、御卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

今思い巡らせば、ついこの間先輩方と出会ったような気がします。先輩方と過ごしてきた月日は、一生心に残るような大切な時間でした。

5月16日、体育祭の結団式を行った時、先輩方からは、私達にはない、何か大きな熱量を感じました。1、2年生は体育祭を楽しむという気持ちの方が強かったかもしれません。しかし先輩方にとっては中学校生活最後の体育祭。この団で絶対に勝ちたいという気持ちが全身から伝わってきました。そんな先輩方の頼もしい背中があったからこそ、私達も信じてついていくことができました。

部活動でも、先輩方からたくさんのことを教わりました。先輩方は私達のことを気遣い、気軽に話をしてくれて、アドバイスをたくさんしてくれました。そんな先輩方がいてくれたので、私達は気持ちよく部活動を行うことができました。私は、陸上部での活動で、なかなか成果が出ず、楽しさを忘れていた時期がありました。そんな、思い悩んでいる時、集団走で離れていく私に、「あと少し頑張れ」と背中を押してくれた長距離の先輩。悩んだ末短距離に移った私を快く輪に入れてくれた短距離の先輩。そんな優しい先輩がいてくれたから、自分は今、とても充実した部活動ができています。

部活動以外でも、親身になって私の相談に乗ってくれた先輩。生徒会活動では、自分の意見を発信する大切さを先輩方から学びました。

こんなにも今までお世話になったのに、恩を返しきれていないのではないかと。私達が先輩方にできることがもっとあったのではないかと、後悔が残っています。だからこそ必ず私達は、先輩方にしてもらったことを、後輩に返します。そして、他学年との関係を深め、地域からも応援されるような学校を作り、先輩方が滑川中学校出身だと誇れるような学校にすることを誓います。

先輩方はこの先、中学校という枠を越え、高校、そして社会へと踏み出し、さらに視野が広がっていくことでしょう。そうなった時、自分の価値観や存在意義が揺らぎ、時に絶望し、自分とは何なのかを考えることがあるかもしれません。それでも、先輩方には、どんなことがあろうとあきらめずに立ち向かい、いつでも自分のあるべき姿を探し続けてほしいです。常に私達のことを思い、頼れる背中を見せ続けてくれた先輩方なら、必ず新たな自分を見つけることができると思います。壁にぶつかってしまったとしても、滑川中学校での大切な日々を思い出し、一步を踏み出す原動力にしてください。

結びに、先輩方の益々のご活躍をお祈りし、送辞といたします。

令和5年3月15日

在校生代表 井上 宥心